

おあしす



特定医療法人 南山会

親切 安心 信頼

峡西病院・峡西老人保健センター・きづな
・アルプス訪問看護ステーション

2021

7

第35巻7号
(通巻407号)



櫛形山はかつて新・花の百名山に選ばれ、山全体で数百万本のアヤマが自生し、東洋一の大群落を形成していたが、今ではシカの食害でほとんど見かけなくなってしまった。シカが食べないトリカブトやマルバタケブキなどの有毒な花だけがはびこっている。当たり前のように見かけたゲンナイフウロも出会うことはまれになった。これは櫛形山の池の茶屋近くで運よく見つけたゲンナイフウロである。漢字で書くと郡内風露。郡内は山梨県郡内地方から来ている。風露とは風流な名前だが、誰がいつ付けたのかは定かではない。一説によれば江戸時代、浅草の植木屋が「風露草」として販売をしていたという。7月ごろが最盛期である。里に咲くゲンノショウコも同じ仲間、薬効が高いことで知られている。



峡西病院の理念

「その人らしさ100%」

峡西病院の方針

1
説明と納得の
医療

2
多職種連携

3
「ここちよさ」の追求

4
社会参加の推進

研修
新任者

行動制限最小化

行動制限に関しては患者様の安全を守るために必要なことであるが、なるべくなら使わない方が良い事であると思う。重度の認知症を患った患者様は医師の疎通も難しく、高齢でもあるため転倒による骨折のリスクも非常に高くなっている。現状歩行出来ていても骨折により、車椅子使用になってしまったり寝たきりになったりする可能性もある。そのためにも転倒予防のため患者様の状態を十分にアセスメントしたうえでやむを得ない場合のみ身体拘束を使用することになる。

しかし、身体拘束をするという事は患者様の自由を奪う事であり、大きな苦痛を伴うこともある。患者様の安全を思つて身体拘束を始めたが、そのことによつてさらなる精神状態の悪化や拘束具による皮膚トラブルなどの悪影響を及ぼす可能性もある。その可能性を考慮しつ

それでも必要な場合であれば家族に十分な説明を行つて同意を得てから身体拘束を使用していく。

現在リスタート病棟では身体拘束を使用している患者様はおらず、病棟全体で患者様の様子観察をおこなっている。転職前の病院では身体抑制の対象となつていたであろう患者様もおり、こちらで働くようになってから、非常にびっくりした。身体拘束をしていない分転倒などないようにはしっかりと見守りを行つていく必要がある。まだ働き始めてから二ヶ月と日が浅く、前職場では身体拘束を使用していたこともあり、十分に見守りができているか自信がない部分もあるが、患者様の安全の為にこれからも身体拘束を使用しないで済むように早く仕事に慣れて、自信を持って見守りが出来るようになっていきたいと思う。

研修
新任者

救急蘇生法

5月19日に行われた新任者研修の救急蘇生法に参加いたしました。講師の川崎先生から2015年のガイドラインから変更点があった内容を重点に一時救命処置の一連の手順や、救急隊に報告する意識の確認のポイント、胸骨圧迫心マッサージ、気道確保、救急カート、AED、気管内挿管の説明がありました。後半は人形を使つて、胸骨圧迫心マッサージと人工呼吸の実技を行いました。

胸骨圧迫法は変更点に沿つて行つてみましたが、予想以上の体力消耗を感じました。一人では続けて出来る処置ではなく、多くのマンパワーが必要であると実感しました。アンビューによる人工呼吸もマスクに少しでも隙間があると、換気ができないため受講の大切さを感じました。研修を受け理解していると思つても、実際現場に直面したらパ

ニックになってしまうかもしれません。医療従事者として率先した行動力が取れるよう、正確な知識とスキルを身に着けるために定期的な受講が必要であると実感しました。

病院という施設で、いつ、どこで患者様が危険な状態に陥るか分かりません。職種に関係なく患者様を救えるよう努めることが重要であると思い、新任者のみならず受講をすすめます。



令和2年度 目標管理発表会

最優秀賞

- 精神科デイケア・フレンズ主催のアート作品展示会を開催する
森澤 千恵 (デイケア)

敢闘賞

- 長期にわたり褥瘡を発生した利用者の完治後のケアとバルーンカテーテル抜去への試み及び離床の促進とADLの拡大
井上恵美、梶山 茜 (関西老健)

- 病棟スタッフの身体疾患の知識の向上ができ、問題点の共有ができるようになる
間邊佳央里 (ブリ工病棟)

- 新人職員の知識・技術の習得が確実にできるよう、ガイドラインやチェックリストを作成し、安心して業務が遂行できるようサポートしていく。また、自分自身の知識・技術の見直しもはかる
樋口陽子、堀内麻衣 (リスタート病棟)

殊勲賞

- 外来ケアプロセス会議を設置運営し、業務改善及び機能評価更新に寄与する
工藤和代子、塩澤 千晶 (地域連携室)
石川 純子 (外来)

- リワーク新規利用者獲得のための仕組みづくりや認知度を上げるための院内外に向けた情報発信を行う
清水 悠司 (デイケア)

- 環境整備を心がけ、患者様に心地よい入院生活を送って頂けるよう考えていく
中島 清美 (アスピール病棟)

技能賞

- 趣味・興味別サークル活動 (週1回/3つ) を展開し、1F利用者10名の生活満足度が向上する。また、フロア職員にも協力を要請し、利用者と職員の関わる時間を増やす
長澤 奏太 (関西老健)

- クリーニング作業の利用者が主体的に作業に取り組む体制を整える
和泉 和仁 (きづなグループ)

- 栄養G事業計画の働き方改革として、厨房業務を再構築し、併せて厨房職員のグレード制を立案する
中島 千里 (栄養グループ)

令和2年度 目標管理発表会

当法人では2003(平成15)年から「目標管理」という活動を行っております。これは「職員一人ひとり達成水準と期間を定めた目標を全員が持ち、少しでもその人なりによりよい自分自身や病棟を目標し、職員一人ひとりが自分の仕事に誇りと責任感を持って当たれるようにするための方法」とされており(おあしす第190号より抜粋)、この基本精神に倣い令和2年度も「よりよい自分自身」「よりよい職場」を目指し各職員がいろいろな取り組みを行ってきました。(取り組みの内容について

ては次号よりご紹介いたします) 去る6月1日、その取り組みの発表会である『目標管理発表会』が行われました。今年度は各部署からの推薦を受けた二七演題から選考会を通過した10演題が発表されました。発表に当たっては演題あたり8分という時間が与えられ、その中で目標選定の主旨、目標達成の過程、考察等を訴えていきます。一年間の労苦を8分に凝縮するわけですから発表者は入念な準備の下発表に臨みます。いずれの演題も「よりよい自分自身」「よりよい職

場」を目指した熱心なプレゼンテーションが繰り広げられ、審査委員長を務めた川崎院長からはあらゆる業種で目標管理は行われるが、当法人の目標管理は(職員)個人の枠にとらわれず各事業や各部署の目標を意識した取り組みとなっている点は高度である」と評していただきました。この発表会も回を重ねること17回になります。17回の歴史の分各職員の体験が蓄積されていきます。それは発表の栄に浴するものばかりでなく職員二百余名分の体験が毎年積み上げられていきます。新しいことを始めようとするとき、壁にぶち当たったとき、そして「よりよいものを作ろうとするとき、これまでの積み重ねられた体験は活かされるものとなります。そういった意味では目標管理は南山会の大きな財産であると信じてやみません。



焼きそば会

6月3日にレク行事委員会主催の「焼きそば会」が開催されました。芝生広場に久しぶりに提灯や焼きそばの看板も飾られました。「鉄板で焼いた焼きそばはやっぱり美味しさが違う」と多くの方から言葉をかけてもらいました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一昨年まで開催された夏祭りなどのご家族や地域の方をお誘いしての行事がまだ計画できていません。しかし、十分な感染対策を行いながら、参加する皆様からの希望やご意見を取り入れ、今年も行事を行っていきたく思います。よろしくお祈りします。



OT・PT だより

生活機能回復訓練とは

認知症治療病棟（リスタート病棟）では、多職種で行う「生活機能回復訓練」というものがあります。看護師・介護福祉士・臨床心理士・作業療法士など多職種が連携し、その人らしく生活していただく為に、安心して過ごせる関わりや好きな活動、本人が大切にしていることを探していきます。また日常生活動作が低下しないように日常生活の中で訓練の要素を取り入れています。ご本人様の仕事や趣味、好きな事、大切にしている事をご家族に聞き、関わりの中や活動に取り入れるようにしています。

作業療法・理学療法グループには、「精神科作業療法」の他にも、認知症治療病棟での「生活機能回復訓練」「認知症リハビリテーション」そして5月から始まった精神療養病棟での「疾患別リハビリテーション 運動器リハⅢ」などのリハビリテーションの活動があります。これらを今月から紹介していきます。

精神科 デイケアだより

Q & A

*スタッフには、どんな人がいますか？

- ★当院では、医師、公認心理師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士などでデイケアを運営しています。
- ★スタッフが協力し、連携しながら、利用されている方ひとりひとりの目的や目標に合わせたりハビリティを提供します。
- ★また、身体のことや心配なことは看護師が相談を受け、制度やサービスの手続きは精神保健福祉士が対応するなど、それぞれのスタッフの専門性を活かした支援を行っています。
- ★実現したいことや心配なことがあり、相談したい場合は、お受けすることが可能です。また、必要な方は定期的に面談をすることができます。

※ご不明な点がある場合はお問い合わせください。



プログラム紹介

生活充実型プログラム

「チャレンジクッキング」

【活動曜日】 月曜午後（第1・2・3週）

【活動場所】 キッチンスタジオ

【活動内容】

1ヶ月ごとにテーマを決めて楽しみながら調理しています。テーマは、①包丁の使い方、基本の調理を学ぶ、②季節の料理を作る、③家でもできる簡単な料理を練習するなど、これらを順番に行います。最近作ったものは、「ふろふき大根」「だしからつくるそば」です。昆布とかつおぶしで贅沢にだしをとり、化学調味料を使ったものは一味違う、自然な旨味と甘さを感じられました。

自分達で作った料理は格別です。みんなと協力して作るので、料理を覚えたい方は大歓迎です。

参加者より



ろうけんTimes

老健タイムスの リニューアル!

まず初めに「老健」の事を知ってもらおうと思ひ、老健の理念について紹介していこうと思ひます。
「老健」の理念「優・友・結」。職員皆で考えた理念です。

「優」：「優しさ」の気持ち

個人の尊厳を重く受け止め、
気持ちに寄り添う事を大切にすること。

「優しさ」は一人一人考え方が違うかもしれない。しかし職員は「老健」にふさわしい「優しさ」を信念として共有しなければならぬと考えました。ですから職員一人一人が考えつづけ、共有する努力をしていきます。利用者様の尊厳を尊重し、「ご家族様」の思いを受け止め寄り添う事を大切にします。そして安心安全な生活、かわりを提供していきます。

「友」：「友愛」の心

近しい親族、親友を大切にすること。
利用者様、ご家族様を想うこと。

「友」の文字には友愛の思いを込めました。近しい親族、親友を大切にするように利用者様、「ご家族」を想うことです。皆様との共感した思い形にし、支援していくことです。

「結」：「人と人」の橋渡し

「人の輪」を広げる事のお手伝いをする。

「結」の文字には字の如く「結ぶ、繋がり」を大切にすることを。私共施設と利用者様の結びつき。ご家族様へ地域資源の紹介。各行政サービスとの橋渡しなど、「人の輪」を広げる事のお手伝いです。地域活動への積極的な参加、繋がりを持ち地域に開かれた施設を心掛けていきます。また、気持ちを伝えるお手伝いを、丁寧に親身に行っていきます。勿論、これらは自宅への在宅復帰を支える繋がりでもあります。住み慣れた地域でその人らしい生活が継続できるように、生活環境を整えていくことです。近隣住民の皆様とも手を携え、人の繋がりの中でその人の人生を支えて行くその思いを込めたものです。

毎日右往左往や七転八起の日々ですが、職員一同これらの理念を「覚悟を持った信念」として邁進しています。地域の皆様に愛される施設でありたいと願うばかりです。

「老健」の紹介

みなさん、「老人保健施設」ってどんなところかご存じでしょうか？利用されている方はご存じでしょうが、高齢者のリハビリを行う施設です。また、私たち職員はこうも言います『自分らしい生活が続けられるよう支援していく施設』と。一言で「自分らしい生活」と言っても様々です。まして一度高齢や病気によって心身に不自由を負ったからこそ思ふのです。「自分の家で生活したい」「歩けるようになりたい」「美味しいものを食べに行きたい」「トイレに自分で行きたい」等々。その思いを「ご本人様、ご家族様と一緒に考え支援していくのが当施設です。職員には、医師、看護、介護、リハビリ、ケアマネ、相談員と様々な職種がいます。各職種、それぞれの専門分野から「その人らしい生活の実現」に取り組んでいます。何かご相談がございました際には、どうぞお気軽にご連絡ください。次号から各職種の取組について、少しずつご紹介していきます。

今日の活動記録



今月は『フルーチェ』を食べよう！と、みんなで一生懸命フルーチェ作りをしました。2種類のフルーチェを作ったので、どっちにしようか悩んで決めました。作った後はもちろん、みんなで美味しく食べました！ペロッと食べてしまい「足りない…」と言う方もいらっしゃいました(笑)

おあしす愛読者様へのお礼

先日『おあしす』読者の方から「万華鏡」の記事が大変好評だったとのお手紙を頂きました。職員これを励みに編集作業を進めてまいります。ご愛読いただき、ありがとうございました。

* 老健もホームページがリニューアルされました。

老健 検索



老健の理念

優 優しさ

友 友愛

結 人と人

新 入 社 員 紹 介

豊田 仁美

- 所属：老人保健センター
- 職種：介護福祉士
- ◆趣味…絵を描く
- ◆好きな食べ物…魚
- ◆好きな色…黒

藤田 涼音

- 所属：クレル病棟
- 職種：看護師
- ◆出身地…身延町
- ◆趣味…手芸
- ◆好きな色…青

石山 歩実

- 所属：OT・PTグループ
- 職種：作業療法士
- ◆趣味…映画鑑賞
- ◆特技…書道
- ◆好きな食べ物…韓国料理

相川 知香

- 所属：OT・PTグループ
- 職種：理学療法士
- ◆趣味…カメラ・パン作り
- ◆特技…似顔絵を描く事
- ◆好きな言葉…「ありがとう」

今泉 真理子

- 所属：アスピール病棟
- 職種：看護師
- ◆趣味…ホットヨガ
- ◆出身地…福島県
- ◆好きな場所…富士山

對馬 鈴香

- 所属：アスピール病棟
- 職種：看護師
- ◆出身地…身延町下部
- ◆特技…バレーボール
- ◆好きな食べ物…からあげ

中込 綾乃

- 所属：ブリエ病棟
- 職種：看護師
- ◆出身地…南アルプス市
- ◆趣味…映画鑑賞
- ◆特技…珠算

土 屋

- 所属：法人事務部 医療事務グループ
- 職種：事務員
- ◆趣味…ライブ鑑賞
カラオケ(自粛中)
- ◆好きな食べ物…サムギョプサル
チョコミント
- ◆好きな言葉…「至誠」

柳沢 真尋

- 所属：ソーシャルサポート部
医療相談グループ
- 職種：精神保健福祉士
- ◆好きな食べ物…さつまいも
- ◆好きな色…紫色・ミント
- ◆好きな有名人…有村架純さん

「患者と医療者のパートナーシップ」指針

■基本方針

当院は最適な医療を提供すると同時に、患者様やご家族の医療や療養に対する希望・自己決定権を尊重して、患者・医療者のパートナーシップを大切にします。

■具体的対応と要望を反映するしくみ

- ・入院時診療計画を説明し、同意を得た上で文書を提供する。(医局・看護部)
- ・月ごとの総合診療計画実施書を説明し、同意を得た上で文書を提供する。(作業療法室)
- ・カンファレンスへの家族参加の呼びかけ。
- ・在宅に向けた医療スタッフの訪問と療養環境整備目的の相談を受ける。(訪問看護室)
- ・ソーシャル・スキル向上目的の訓練計画の立案へ、患者・家族の参加の呼びかけ。(臨床心理室・デイケア室)
- ・アンケート調査を通じて、要望事項の確認と対応の公開をする。(事務部)
- ・「ご意見箱」により病院管理者へ意見が届き、対応内容を院内に公開する。(接遇委員会)
- ・「家族教室」を定期的に開催し、必要な情報の提供と相談に応じる。(医療相談室)

■患者 - 医療者のパートナーシップを継続的検討

- ・指摘された問題や要望については、定期的な検討を行なっています。

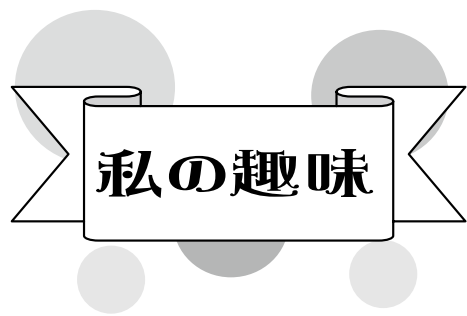
趣味と言えるものはありませんが、最近は何となくインドア派（元々アウトドア派というほどアウトドア派ではありませんでしたが）になり、ケーブルテレビの番組を見ることや、本棚の肥やしになっていた漫画・小説を読む・読み直すのに時間を費やすことが多くなりました。

広く浅く色々なものを見るのが多いので、「特にこのジャンルが好き」というものもなく、その日の気分です今日はテレビ、翌日は小説とかもよくあります。

そんな中、最近では再放送の「名所めぐりのある2時間サスペンス」をスマホ片手に名所を調べながら視聴をし、「聖地巡礼」ではないですが、ここに行っ

万華鏡

はじめまして。今年の4月から峡西病院に勤務することになりました塩江と申します。こちらには初期研修医の頃、精神科研修で2カ月ほどお世話になりました。ちょうど病院の敷地内に桜が咲いている時期で、休憩時間にベンチに座って眺めるのが好きでした。いろいろなことを教えていただき、楽しく研修できた思い出があります。そんな峡西病院に、精神科医として戻ってくるのがで



私の趣味

たらあれ見てこれ見て、あれ食べてこれ食べて、と旅行気分になるのに主に時間を使っています。ただ、面倒くさがりな性格もあり、せっかく調べてもメモ等に残しておかないので、「あれ？ここに調べたことあるなあ」という所も結構あります。頭の中で計画を立てるのが楽しいので、「前回はこのルートだったけど、今回はこっちのルートで」といった頭の中のプラン変更もよくあります。

予定通りにいかないことも旅の醍醐味なので、そういうところも含めて身近な所の小旅行から行ってみたいと思っている今日この頃です。

法人企画部 中山 貴

きて嬉しく思っています。

今回、おあしすの万華鏡に記事を書いてほしいと言われ、何を書くか悩んだのですが、まずは簡単に自己紹介とさせていただきます。私は山梨県出身で、兄と弟がいます。趣味、特技と大きい声で言えるものはありませんが、前述のように花を眺めるのが好きで、高校時代は華道部に所属していました。高校卒業後は、本格的な生け花はやっていませんが、自宅で細々と花を育てています。3年前に梅の鉢植えを買ったのですが、毎年綺麗に咲いています。他は基本的には休日は自宅でゴロゴロしていることが多いのですが、旅行を兼ねて県外の温泉に行くことも好きです。温泉街をぶらぶら散策したり、

露天風呂に入っただけと外を眺めたりして気分転換しています。以前に行ったことのあるところでは、長野県の渋温泉と群馬県の伊香保温泉が風情があつて良かったです。新型コロナの影響でしばらく自粛していますが、また落ち着いたら行きたいなと思っています。大体いつも同じところにはばかり行ってしまつので、どこかおすすめの温泉地、旅館などあれば、皆さん教えてくださいと嬉しいです。

まだまだ不慣れなところもあるかと思いますが、日々いろいろなことを吸収していきたいと思えます。今後ともよろしく願っています。

診療グループ 塩江 理沙

こちら編集室

夏が始まる前の梅雨の時期に収穫の最盛期を迎える梅の実。未熟な青梅は梅酒や梅シロップなどに、完熟梅は梅干しなどに加工されます。

梅は古来より体に良い食べ物として人々に親しまれてきました。

梅の実の酸味（クエン酸）は疲労回復や殺菌作用が期待できると言われてお弁当のご飯に梅干しを添えると、傷みにくくなると言われていています。

私は今年も祖母の家で青梅を自分で梅シロップを作りました。2週間ほどで完成しますが毎日瓶を振って完成を楽しみにしています。毎年自分で作った梅シロップで梅ジュースを楽しむのがこの時期の恒例となりました。これから本格的に暑くなりますので梅ジュースと共に暑い時期を乗り越えたいと思います。

今月の大きな話題としては、新型コロナウィルスの影響で1年延期となっていた東京五輪が間もなく開催の予定です。緊急事態宣言が出ていたり、まだまだ感染の終息の兆しがなく、東京五輪開催については賛否両論あると思います。それでも着々と準備は進められています。聖火リレーも日本各地を回り火をとめています。

平和の祭典である東京五輪が私たちに与えて希望の光となることを祈っています。

(はなこもち)

今月の予定 7月

8日(木)
クリニカルパス委員会

10日(土)
外来ケアプロセス会議

27日(火)
高齢者プロジェクト

今月はB病棟 河西初美さんのペットです。




わが家のペット

我が家のカメキチ君です。
20年一緒に住んでいます。
種類はクサガメだそうです



おあしす広場

今月もおあしすに素敵な作品が寄せられました。

つばめくる戦闘機の如宙返り 石坂 克巳

葉はあれど今いざこかなつばくらめ カナメ

クーラーの下に群がる人影か 恵 風

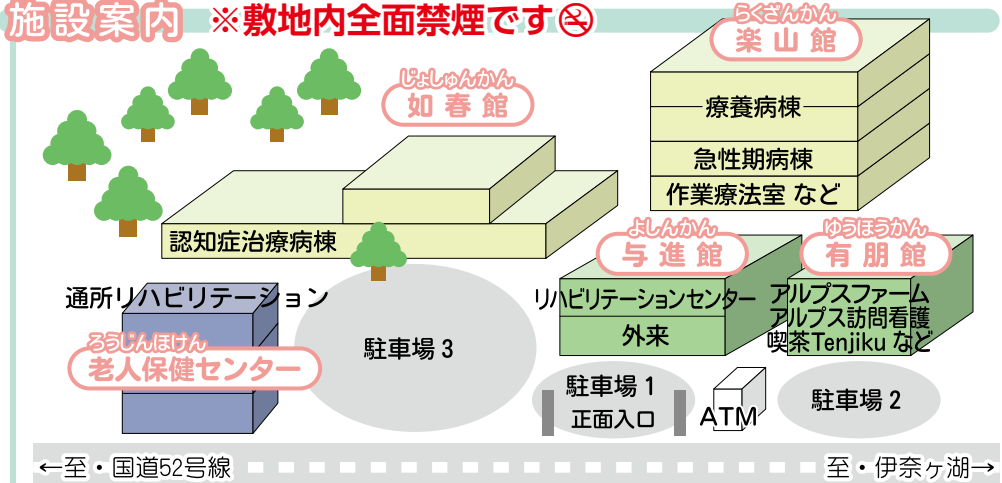
つばめたち葉ふたつ残して葉立つけり 阪本みずほ

低空を宙返りするつばめかな 塚原 光明

青い海サーフィンヨットのサマービーチ 渡辺 あき

※掲載は五十音順です。

施設案内 ※敷地内全面禁煙です



5ヶ所かん 楽山館
療養病棟
急性期病棟
作業療法室 など

1ヶ所かん 如春館
認知症治療病棟

2ヶ所かん 与進館
リハビリテーションセンター
外来

3ヶ所かん 有朋館
アルプスファーム
アルプス訪問看護
喫茶 Tenjiku など

通所リハビリテーション
老人保健センター

駐車場 3
駐車場 1 正面入口
ATM
駐車場 2

←至・国道52号線 至・伊奈ヶ湖→

交通案内

- JR中央線
甲府駅より車で40分
- JR身延線
東花輪駅より車で15分
- 中央高速
甲府昭和ICより車で30分
- 中部横断道
南アルプスICより車で5分
- 山交バス
甲府-南アルプス市甲西支所行き
(十五所経由) 鯉沢営業所行き
(西野経由) 鯉沢営業所行き
小笠原下仲町バス停徒歩5分

月刊おあしす第407号 1987/9/5創刊 発行所 〒400-0405 山梨県南アルプス市下宮地421
TEL 055-282-2151 FAX 055-284-4886
URL <http://www.nan-zan.or.jp>

特定医療法人 **南山会** * 広報委員会 * 中山貴、望月裕太、土屋真実、柴沙也佳、須田浩紀
原京子、埜村麻美、塩澤千晶、保坂聡子、成田正樹

次回408号も お楽しみに!

印刷：株式会社 山扇印刷